

ふれあいネットワーク



社協

まつもと

元気で明るく、楽しみながら

奈川地区高齢者クラブと奈川小学校児童がもちつきで  
仲よく世代間交流  
(奈川地区夢の森にて)



うさぎ年の始まりです。

「よいしょ！」大きなかけ声ともちつきのリズムにあわせて、うさぎのように元気にとび跳ねる子どもたち。

奈川地区高齢者クラブは、文化伝承と世代間交流を兼ね、地元の小学校の児童と、もちつき大会を行ないました。昔は冬の風物詩として、まちのあちらこちらで行なわれていたもちつき。今では、子どもたちの中にも臼や杵を使ったもちつきをやったことがない子もいます。

つきたてのおもちをほおばりながら、学校の話や昔話に花が咲き、明るい年がやってきます。

- ・本郷地区ご近所のおつきあいから…………… 2 P
- ・南部老人福祉センター「利用者の会」文化祭… 2 P
- ・在宅介護者のつどい参加者から…………… 3 P
- ・四賀地区「結婚推進イベント」…………… 3 P
- ・福祉まんが「あいちゃん」…………… 3 P
- ・ボランティア情報「こてまり」…………… 4～5 P
- ・平成22年度日赤社資のお礼と報告…………… 6 P
- ・希望の家カフェ「ポリジ」オープン…………… 6 P
- ・波田の「石焼いも」販売— …………… 6 P  
障がい者就労センター・はた



発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000  
編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239  
E-mail:syakyom@avis.ne.jp http://www.syakyo-matsumoto.or.jp

私にもできる安全・安心な地域づくり

# やっぱり「近所」でしょ！

## 本郷地区「おせんしょ」から

本郷地区にお住まいのIさん（九十五歳）のお勝手から今日も、心地よい包丁の音が聞こえます。

好きなものを自炊して、温かいうちにご近所におすそわけをし「おいしかったよ」と言われることがうれしいとほほ笑みます。

この日も、ご近所から差し入れされた紫いもを煮つけたり、甘酒を作ったりと忙しく調理していました。

Iさんの暮らす本郷地区では「おせんしょ」

**宣言をしました。**「おせんしょ」とはよい意味の世話焼きさん、という言葉です。とかく、

若くて元気に働く忙しい世代にとつては、なじみの薄い言葉かもしれませんが、さんのように健康で、介護は



丁寧に下ごしらえをする

必要ないけれどひとり暮らしの方や、日中、高齢者のみの世帯、共働きの方々にしてみれば心強いおせんしょ。

世話をしたりされたり、自身も自慢の味を振る舞うことで、ご近所とのつながりができ、昔ながらの「お互いさま」を感じながら、安心して暮らしていますと語っていました。

# 楽しみながらいきいきと

## 南部老人福祉センター「利用者の会」



松本市南部老人福祉センターで活動するサークルの皆さんの「利用者の会」。一昨年十月に発足し、本年度が第一回目となる「利用者の会文化祭」が、十月十三日・十四日に開催されました。

初めての文化祭でしたが、演奏、ダンス、美しい歌声のステージ発表、多数の力作の作品展示などを楽しみながら、お互いのサークル活動を理解する機会となりました。また、利用者相互の交流も深めることができました。



力作が並びステージ発表もおおいに盛り上がる

今後はさらに内容を充実させ、多くの皆さまに楽しんでいただける文化祭にするとともに、社会貢献活動などにも取り組み、幅広い活動を行なっていく予定です。



### 〇問い合わせ

松本市社協 南部老人福祉センター内  
「利用者の会」事務局  
電話25-3133（内線131、132）



# ボランティア情報 **こてまり**

- 『こてまり』はこんな情報を発信しています！\*\*\*\*\*ボランティア活動についての情報・活動者、団体の紹介・講習会や行事などの紹介
- 問い合わせ/記事掲載の申し込み\*\*\*\*\*松本市社会福祉協議会内ボランティアセンター TEL(0263)25-7311 FAX(0263)27-2239



## 2011年 **迎春** 今年もよろしくお願いいたします

地区

ボランティア  
活動紹介

### ○白板地区 広がれ「ちょボラ」…私にもできる心温まる活動

白板地区福祉ひろばを拠点に、ちょこっとできるボランティア活動（ちょボラ）を模索していたメンバーが、このたび児童福祉施設の子供たちに使ってもらう雑巾と、巾着袋の製作に取り組みました。

手縫いの雑巾は糸の切れも少なく使いやすいと大好評です。また、巾着袋も給食に使う箸や歯ブラシなどを入れて使うものですが、買ったものとは一味ちがって心がこもっています。「年寄りだからボランティア活動なんて何もできないよ」と言っていた方々が、一心不乱に針を運び、ミシンを踏む。そして、子供たちからお礼の手紙も届きました。「本当にありがとうございます。大切にさせていただきます」と。

メンバーの皆さんは「私たちもお役に立てて良かった。喜んでいただけて嬉しい」と感じられたことと思います。こういう心のふれあいがボランティア活動を支えています。小さなことだけれど一番大切なこと。できる事はたくさんあります。温かな思いやりの輪が広がっていくといいですね。



### 私たちの地域は 私たちの手で



### ○松南地区 ボランティア松南では、昨年度から「自分たちが生活する地域を自らの手できれいにしたい」と地域の清掃奉仕をしています。

昨年度は1回の実施でしたが、本年度は、会員の意欲も高まり年3回を予定しています。1回目は6月上旬に南松本駅から線路沿いに歩道の清掃を行ないました。そして2回目は9月中旬に地区福祉ひろばを中心に植栽の中の枯れ木やごみの撤去、草刈りや雑木の排除作業を実施しました。

とてもきれいになり、福祉ひろばの利用者からも感謝の声をいただきました。地域の方々が喜んでくださることで清々しい気持ちになり、それがボランティアの原動力となります。皆さんの笑顔エネルギーに、今後もこの活動を続けていきたいと考えています。

### ○第1地区 ともに楽しむ時間・・・施設訪問

第一地区では、施設でのボランティア活動を実施しています。踊りの他にメロディベル、大正琴、オカリナの演奏などを披露します。今回は午前中にローズガーデン、午後にはツクイ松本デイサービスへと2カ所に出かけました。楽しみに待っていてくださったお年寄り、手拍子をしたり歌を口ずさみ笑顔いっぱいひとときでした。最後にはゆったりとしたメロディーに合わせてメンバーと一緒に体を動かす場面も…。

してあげるのではなく「ともに楽しい時間を過ごすこと」、ボランティアの基本です。



お知らせ 『私たちの地域でも、こんなボランティア活動やってます!!』  
そんな情報お待ちしています。取材にうかがいます。TEL25-7311

松本市ボランティアセンターまで

### メンバー募集

障害者と交流する「仲間サークル」のメンバーを募集します。

#### ●どんなことをするの？

障害者と一緒にスポーツやドライブなどのイベントを企画実行してくれる方

#### ●いつ？

都合のつく土曜日・日曜日

問い合わせ 090-1868-9519 (サークル代表 松永) まで



### 〇〇生地募集〇〇〇

小中学生等の袋ものを作ります。余っているキルティング生地があれば、ご寄付ください。キャラクターなどの生地也大歓迎です。少量でもかまいません。

ご連絡ください。連絡先 松本市ボランティアセンター

☎25-7311まで



## 募集中コーナー!



### ボランティア募集

寿台養護学校(寿豊丘811-88)では、教育活動の支援、読み聞かせ、楽器の演奏、陶芸、車いす介助等お手伝いいただける方を募集中です。日時はボランティアさんの都合でかまいません。

問い合わせ TEL 86-0046 FAX 86-9276 教頭 下川、教諭 中澤まで



## 報告とお知らせ

### ボランティアセンター事業

### 地区ボランティア部会役員研修会報告

昨年の11月5日、地区ボランティア部会の活性化を目的に、役員さんを中心に、地区で高齢者を支援するための研修会を開きました。研修会の内容は、「高齢者等を悪質商法から守る」というテーマで、市消費生活センターの松井相談員に、被害の実態や悪質な手口などのお話をいただきました。社会的に問題になっていても後を絶たない悪質商法の被害。頭ではわかっている、その場になるとだまされる人間の心理についてや、もしも引っ掛かってしまった場合のクーリングオフの方法など学びました。

続いて「認知症高齢者とのコミュニケーション」というテーマで、NPO法人ホールファミリア協会の山田事務局長から講演いただきました。

これからの高齢者支援で、避けて通れない「認知症」。症状はさまざま、判断も難しく病院に行くのも大変な場合が多いとのこと。大切なのは認知症は病気であり、そのいくつかの特徴を理解し、共生していくこと。そして早期発見で進行を遅らせる治療も可能であり、心ない接し方で進行を早める場合もあるとのこと。地区ボランティア部会の皆さんにはこれから地域で助け合うしくみ「見守り安心ネットワーク」の構築について、ご協力をいただきたいと思います。



「皆で支え合おう!」  
山田さんの講演



### 平成22年度 松本市ボランティア交流集会

『笑顔でおつきあい』  
～コミュニケーションが地域の絆をつくる～  
をテーマに平成22年度松本市ボランティア交流集会を開催します。大勢の皆さまのご参加をお待ちしています。

日時：平成23年2月5日(土曜日)

午前9時半から受付開始

場所：松本市総合社会福祉センター4階

### ～こんな内容です～

聴いてね♡

Welcomeコンサートでお出迎え

9時半からjazzの演奏

\*1部 10時開会

活動発表 PRタイム……日頃の活動内容を短時間で紹介します

《交流》 12時～

\*フリートークタイム…昼食をとりながら自由に交流します。出会いとつながりを深める時間です

福祉施設のカレーやお弁当、パンなどの販売をしますぜひご利用ください

\*2部 13時半～

講演会 講師：高木宏明先生

(諏訪中央病院 在宅診療部長・医療安全管理部長)

演題：「ほけちゃったらどうしよう!？」

～認知症の理解と対応～

♪ 歌が飛び出す楽しい講演…

関心のある方はぜひおいでください

講演会だけでもOKです! お楽しみに(^v^)



問い合わせはボランティアセンターへ  
TEL 25-7311 FAX 27-2239



## 日赤社資へのご協力ありがとうございました！ 社資募集実績額 29,917千円 (平成22年5月1日～11月30日現在)

日赤松本市地区では皆さまからいただいた社資を、地域におけるさまざまな事業に活用させていただいております。【救急救命・幼児安全・家庭看護の講習、健康や安全を守るための勉強会や交流会、災害に備えた地区・町会での炊き出し訓練など】



長野県支部活動へ  
災害救助、医療事業、青少年赤十字  
地域奉仕団育成等  
20,044千円 (67%)



◆目標額	39,426千円
◆実績額	29,917千円
◆達成率	75.9%



本社事業費へ  
国際救援活動等  
4,488千円 (15%)



市地区・35分区事業費へ  
5,385千円 (18%)

平成二十三年一月一日号  
第一八九号

## 希望の家にCafe「ポリジ」がオープン！

松本市社協が運営する障害者就労継続支援事業所「希望の家」では、メンバーの社会参加、自立・自活に向けて、「障害のある人もない人も、対等の立場で働く」ことをめざして、**新たな職種としてカフェ「ポリジ」が昨年12月1日オープンしました。**(ポリジはハーブの一種。南欧原産ムラサキ科の1年草の名前です)

目玉は、**軽井沢丸山珈琲の味をそのままに、フレンドコーヒー(ホット2種)を300円で提供している他、フレンドコーヒー豆、飲みやすいポリジフレンドコーヒー豆(各240グラム入り)を各1,000円で店頭販売**しています。

また、同じ敷地内にある**総合社会福祉センター**での会合等に**コーヒーの配達サービス**も行なっています。メンバーは、店内の清掃や飾り付けなど各々ができることを行ない、お客様に挽きたてのコーヒーをおいしく味わっていただけるよう、スタッフ、メンバーともががんばっています。明るい店内では、ぬくもりのあるハンドメイドの木工製品や陶器等が並び、展示販売も行なっていますので、合わせてご利用ください。



おいしいコーヒーをどうぞ



来客に備えて準備をする



【問い合わせ・予約先】

「希望の家」カフェ「ポリジ」 電話31-6010

発行人 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会

会長 渡辺

聰

## ほっかほかの石焼いもいかがですか

松本市社協が運営する「障がい者就労センター・はた」では、冬の定番「石焼いも」を平成16年から冬季間(11月～4月まで)波田保健福祉センター入り口で販売して7シーズン目を迎えています。

地元でも、専用の石焼いも機で作るほくほくとして甘い焼いもが人気を呼び、中には予約して買ってください方も。販売は利用者が交代で行なっており、「お客さんと話しをしながら販売することが楽しい」とのこと。**さつまいもは、紅あづま・紅ごがね等、仕入れ時に一番良いものを選び、毎週金曜日正午～午後3時まで販売しています。(値段は100グラム100円で中型サイズのさつまいも1本200円～300円で販売)** 今後は、従来の販売の他、イベント等にも出店したいと利用者は意気込んでいます。

その他、同施設ではタオルを使った吸水性に優れたマットや履き心地がよいぞうり等の手芸品、革製品等を作って販売しています。是非ご利用ください。



昔ながらの新聞紙を使った袋へ



焼いも機に並んだおいしそうないも



【問い合わせ】

松本市社協波田地区センター  
「障がい者就労センター・はた」  
電話92-8002

松本市双葉四番十六号

印刷所 信州印刷株式会社